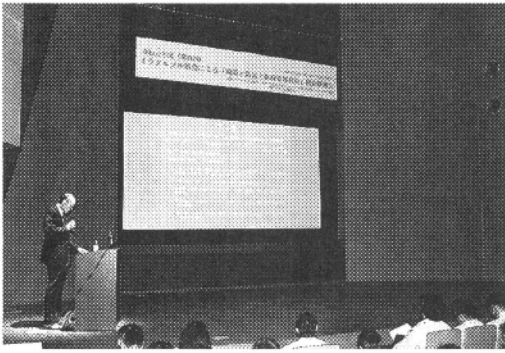


環境・防災・維持 管理で技術研修会

ミラクルソル協会

ミラクルソル協会(原裕理事長)は21日、佐賀県唐津市の唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で、2019年度第27回「環境と防災と維持管理」技術研修会を開いた。写真。発注機関、コンサルタン、建設会社の技術者ら多数が参加した。



原理事長は、「ミラクルソル工法の環境負荷低減技術」と「SHS永久アンカー工法の構造とそのメリット」の2テーマについて講演。このほか、日特建設九州支店事業部技術部の岩崎玄之次長、日本建設技術企画開発戦略本部の金丸彦一郎部長、岡三リビックリバイブ創新部の鳥飼貴人部長がそれぞれ講演した。水と土と緑の環境を創出するミラクルソル、ジオファイバー、ニューレスプ、親杭パネル壁の4工法、クリスタルバイオ、SHSアンカー、SWライナーの3工法について取り上げたパネルディスカッションも行った。

CPDS(継続学習制度)
・CPD(継続能力開発)認定講習で、佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会、SWライナー工法協会が共催した。